

「新しい公共の場づくり」 山梨県内での取り組みと今後の展望 シンポジウム開催のご案内

「新しい公共」とは、「官」だけでなく、市民の参加と選択のもとで、NPO(民間の非営利組織)や企業等が積極的に公共的な財・サービスの提案及び提供主体となり、医療・福祉、教育、子育て、まちづくり、学術・文化、環境、雇用、国際協力等の身近な分野において共助の精神で行う仕組み、体制、活動などを指します。山梨県では平成23年度より山梨県新しい公共支援基金事業として、地域課題の解決に向け、各事業が実施されてきました。2年間の取り組みと今後の展望についてシンポジウムを開催します。是非お気軽にご参加下さい。

(日時) 2013年3月8日(金) 午後1時30分～3時30分

(会場) かいてらす (山梨県地場産業センター・2階大会議室)

(主催) NPO法人山梨県ボランティア協会
(協力) 山梨県(企画県民部県民生活・男女参画課)
平成24年度山梨県新しい公共支援基金事業
モデル事業、活動基盤整備事業実施団体

(内容) ●シンポジウム
テーマ「山梨県新しい公共支援基金事業の
取り組みと今後の展望」
●事業活動紹介展示コーナー
モデル事業・活動基盤整備事業実施団体の
事業活動の展示

(対象) 関心のある方でしたらどなたでもご参加いただけます。

(参加申込) 3月6日(水)までにFAX・E-mailでお申込下さい。申込書は以下の専用サイトダウンロードいただけます。

(シンポジウム出演者)

穴水 努 さん

(山梨県安心安全見守りセンター運営協議会高齢者見守り実証実験実行委員、モデル事業H23～H24：山梨県安心安全見守り事業)

加藤 順彦 さん

(外国人の子ども・若者就学支援連絡協議会会長、モデル事業H23～H24：外国人の子ども・若者就学支援事業)

雨宮 誠 さん

(山梨がんアクション協議会事務局長、モデル事業H24：オール山梨・がん・アクション・プロジェクト)

藤原 行雄 さん

(東日本大震災・山梨県内避難者と支援者を結ぶ会・事務局、モデル事業H23～H24)、山梨在住・東日本大震災避難者へのパーソナル・サポート・プロジェクト)

(コーディネーター)

日高 昭夫 氏

(山梨学院大学法学部長、山梨県新しい公共支援基金事業運営委員会委員長)

(同時開催イベント) 活動紹介展示コーナー
12:30～16:30

県内で実施されてきた山梨県新しい公共支援基金事業モデル事業、活動基盤整備事業実施団体の取り組みや成果発表、事業活動紹介展示を同会場にて行います。

(参加団体) 予定

NPO法人山梨県安心安全見守りセンター、山梨がんアクション協議会、外国人の子ども・若者就学支援協議会、やまなしコミュニティビジネス推進協議会、東日本大震災・山梨県内避難者と支援者を結ぶ会、やまなし絆ネットワーク協議会、Smart Frontier KOFU(スマートフロンティア甲府)、NPO法人山梨県ボランティア協会 ほか

会場案内図



(お問い合わせ・申込先)

NPO法人山梨県ボランティア協会

TEL 055-224-2941

FAX 055-232-4087

E-mail vol01@yva.jp

専用サイト やまなしNPO情報ネット URL <http://www.yamanashi-nponet.jp/>

やまなしNPOで検索